私がピアノの前に座ったら彼らは笑った、しかし弾き始めると！ー

アーサーはちょうど「ロザリー」を弾いたところだった。部屋は拍手で沸き返っていた。これは私のデビューを飾るドラマティックな瞬間だと確信した。友人すべての驚愕を前にして、私は自信たっぷりにピアノに向かって歩を進め、その前に座った。

「ジャックは一芝居打つつもりじゃないのか」とくすくすと笑ったものがいた。聴衆も笑った。彼らは私が一音も弾けないと思っていた。
「彼は本当にピアノが弾けるの？」と、ある少女がアーサーに向かって言っているのが聞こえた。アーサーは「神にかけてもいいが、彼は弾けないよ」と、叫んだ。「彼は人生で一音だって弾いたことがなかったんだ……でも、見てみろよ。格好はさまになってきているじゃないか」

嘲笑のなか、シルクのハンカチを取り出し、ピアノの鍵盤のチリを軽くはらった。そしてちょうど、パデレフスキというピアニストが劇場でやったのを誰かからモノマネしたのと同じように、立ち上がって、ピアノのいすを４分の１回転させた。

聴衆の後ろのほうから「あれはいったい何の真似だ？」という声が聞こえた。
「おもしろいじゃないか！」と呼応する声があがり、聴衆一同、笑いのうずに巻き込まれた。

ピアノを弾き始めると

聴衆は水を打ったように静まり返った。笑いは魔法のように彼らの口から消え去った。リストの不朽の名作「愛の夢」の１小節目を弾いた。聴衆が急ぎで息を呑むのが聞こえてきた。私の友人は息ももらさず、引きこまれていた。

ピアノを弾き続け、その間は周囲の人間の存在は忘れていた。時間も場所も、息ももらさぬ聴衆のことも忘れていた。自分の住む現実世界が次第に薄れて――ぼんやりとしてきて、現実のものではなくなったように思えた。音楽だけが聞こえた。音楽と幻想だけがあった。かつて偉大な作曲家が呼び覚ました、美しくて、変化に富み、風の中にただよう雲や、ただよう月の光の幻想だった。偉大な音楽家が私に話しかけているように思えた――音楽を通して語りかけているように――言葉ではなく音で語っているようだった。文章ではなくこの上なく素晴らしいメロディーを通

して。

完全なる勝利！

突然の拍手の嵐で部屋が沸きかえり「愛の夢」の最後の部分はかき消されていた。私は興奮した聴衆に囲まれていた。友人がどれほど興奮していたか！　ある男性は私と握手をし――大いなる祝福を表し――熱狂的になって私の背中をたたいた。誰もが喜びの声をあげ、矢継ぎ早に質問してきた……。

「ジャック！　なぜピアノが弾けるって今まで教えてくれなかったの？」「どこで習ったの？」「どのくらい習っていたの？」「先生は誰？」

「私は一度も先生を見たことがありません」「ちょっと前まで全く弾けませんでした」と答えた。
「冗談だろう」と熟達したピアニストであるアーサーは笑った。「君は何年か習っていた。間違いないよ」
「私はほんの短期間習っていただけです」と言い張った。「私は聴衆のみなさんを驚かそうと思って内緒にしてきました」
といって全てを話した。

「U.S.音楽スクールという名前を聞いたことがありませんか？」と聞いた。友人の何人かはうなずいて「それって通信制の学校だったよね？」と叫んだ。「そうだよ」と答えた。「その学校では、たったの数カ月でノートだけを使ってどんな楽器でも弾けるようになるという、新しく簡単に習えるようにした方式を取り入れているんです」

先生なしでどうやってピアノの弾き方を習ったか？

それから、私が何年もの間、ピアノにあこがれていたことを説明した。「一日数セントだけで学習できる新しい方法をうたったU.S.音楽スクールの興味深い広告を目にしてから、わずかしか経っていないと思います」その広告には、ある女性が家で暇な時間を見つけて――しかも先生なしで！――どのようにピアノをマスターしたかが書いてあった。何よりも、彼女が実践したその素晴らしい方法では、骨の折れるような音階（何オクターブかを往復して運指の訓練をすること）や――温かみの

ない練習も――うんざりする練習も必要なかった。これはとても説得力があったので、無料デモレッスン申込み用のクーポンに必要事項を書き込んで送った。

「スグに無料サービスの本が届いて、その夜スグにデモレッスンを始めた。私はこの新しい方法でいかに簡単にピアノを弾くことができるかを知って驚嘆した。そして正式にレッスン教材を申し込んだ」

「レッスン教材が届いたとき、広告がうたっていた通り、アルファベットのABCを習うくらい簡単だということがわかった。レッスンが進むにつれどんどん簡単になっていった。それがわかるまえでも、すべてのレッスン曲を弾いたし、とても楽しかった。何者も私を止められなかった。バラードもクラシックもジャズも同じように簡単に弾けた。音楽の特別な才能など全くなかったのに」

＊＊＊＊

どんな楽器も弾ける

あなたも、通常の半分の時間で――しかも自宅で――いますぐ熟練したピアニストになる練習ができます。どうやったら好きな音楽をノートだけで習得できるかすでに５０万人の人たちにお見せした、この簡単な方法は間違いありません。あなたに特別な才能がなければならないという古びた考えは捨てましょう。パネルに書いてある楽器のリストを見て、どれを引きたいか決めて下さい。そうすれば、あとのことはU.S.音楽スクールにお任せ下さい。どの楽器を選んでいただいても良いということも心にお留めおきください。どれを選んでも料金は同じ――１日数セントです。初心者でもある程度熟練していてもかまいません。この新しく素晴らしい方法にご興味を持って頂けるでしょう。

無料レッスンブックとデモレッスンの申し込みはこちらです。

何千もの成功した学習者は、たのしい無料レッスンブックと共に無料でお送りする、素晴らしい「音楽の能力テストブック」で明らかになるまで、自分に音楽的才能があるとは決して夢にも見ていませんでした。

もし本気で、好きな音楽を練習したい――幸せを手に入れ、人気者になりたい――と思うなら、無料レッスンブックとデモレッスンを今すぐお申し込みください。費用は一切無料で、お申込みも自由です。ご用意したクーポンに必要事項を書いてお送りください。ご要望があれば、楽器もお貸しします。お支払いは現金でもクレジットカードでも結構です。

U.S.音楽学校
812BrunswickBldg.,NewYorkCity.

無料レッスンブック（ドクターフランククレーンが案内する「自宅で音楽のレッスンを」）を送ってください。デモレッスンと特別提供のものも送ってください。以下のコースについて知りたいです。